

タブレット端末整備の進め方や 教員の指導力向上等を提言

今年度、私が所属する文教常任委員会では「学校園等におけるICTの活用について」をテーマに所管事務調査を実施し、成果を報告書としてまとめました。

所管事務調査とは、委員会の担当する分野の市政課題に対して、自主的にテーマを設定して調査研究を行うものです。

教育委員会事務局からの資料の提示や説明の聴取に続き、市内でタブレット端末の先行導入を行っている第四中学校と楠葉西中学校を訪問し、ICTを活用した授業の実施状況等について調査を行うとともに、他自治体に先駆けてICTを活用した教育を実施している松阪市と熊本市を視察。その後、委員間での討議を通じて課題整理を行った後、委員会としての意見提言を報告書としてまとめました（右欄参照）。

特に、教員の指導力向上は、ICT教育を効果的に進める上で最も根幹となる部分であることから、学校



第四中学校でのICTを活用した授業を視察

主な提言項目

学校のICT環境整備について

- 「1人1台」の端末整備に向けた進め方について
- 通信ネットワークの整備方法について

ICTを活用した授業（学習）について

- 授業での活用方法（授業改善）について
- 個別学習（持ち帰り学習や自学自習学習等）について
- 学習に困難を抱える児童、生徒への対応について

教員のICT教育における指導力向上について

- 教員研修の取り組みについて
- サポート体制について

現場と教育委員会が一体となって、効果的な研修のあり方や教員同士の情報共有の仕組みの構築を進めていくことや、教員によって授業の質に大きな差が出ることのないよう、マニュアルの作成など一定の質を確保するための仕組みづくりについて提案しています。

今回、提言した内容が枚方市の教育現場でいかされ、子どもたちのよりよい学び、個別最適化された学びにつながるよう、引き続き議会で提言していきます。

新型コロナウイルス感染症に関して枚方市議会で要望書を提出

関係機関との連携強化や 情報発信等について市に要望

新型コロナウイルス感染症については、3月3日には枚方市においても感染された方が初めて確認されるなど、全国で感染者数が増加しており、市民生活や事業活動に深刻な影響が出ている状況です。

枚方市では、年明けから市内医療関係機関と情報共有を行うとともに、感染者が発生しても直ちに適切な対応ができるように対策本部を設置し、情報収集とともに市民の不安に対応するため、問い合わせ専用の

電話相談窓口をいち早く開設しました。

枚方市議会においても、日々変化する状況を踏まえ、感染拡大を徹底的に防止するとともに、市民の不安をあおることのないよう、市に対して▼よりわかりやすい情報の発信を行うこと▼市立ひらかた病院の体制に万全を期すこと▼国・府と連携を強化し、必要な情報を収集すること▼府内横断的な情報共有体制を構築すること一などの項目について、要望書を提出しました。

枚方市 新型コロナウイルス
専用相談窓口 相談受付時間 TEL 072-841-1253
FAX 072-841-2470

午前9:00～午後5:30（平日のみ）※受付時間等は変更になる場合もあります

かじや知宏 プロフィール

枚方市議会議員（現在2期目）
監査委員、議会運営委員会委員
文教常任委員会副委員長

経歴
昭和43年9月12日生まれ。
阪保育所、殿山第二小学校、第三中学校、牧野高校、龍谷大学文学部社会学科社会福祉学専攻を卒業。
(株)報知新聞社での11年間の勤務を経て行政書士に。
大阪府行政書士会綱紀委員、同企画広報部副部長、同枚方支部副支部長、NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議理事、中司宏事務所政策スタッフ等を歴任。

現在
かじや行政書士事務所代表、コスモスおおさか幹事、牧野高校同窓会校友会副会長等。

趣味
読書、スポーツ観戦（プロ野球、格闘技等）、神社仏閣巡り、観劇（宝塚歌劇団等のミュージカルなど）

市政に関するお問い合わせ

発行元 かじや知宏 〒573-0171 枚方市北山1-23-57

TEL 090-3705-9393 E-mail tomohiro@t-kajiya.com

大阪維新の会枚方市議会議員団

〒573-8666 枚方市大垣内町2-1-20 枚方市役所本館4階

TEL 072-841-1221(代)

政策や活動の詳細はウェブサイトやSNSをご覧ください

http://www.t-kajiya.com/
tomohiro.kajiya @kajiya_tomohiro

駅前報告を行っています～650回継続中～

午前6:20頃～8:30頃に駅前で「議員報告」の配布を行っています。

大阪維新の会 枚方市議会議員団

枚方市議会議員

まっすぐ 市政改革

かじや 知宏

議員報告

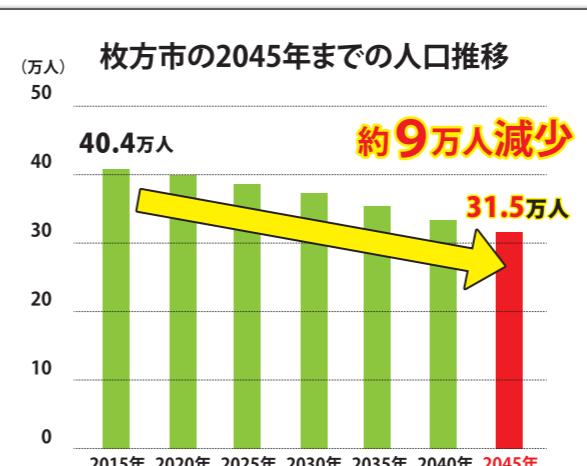


地域配布版第30号（通算144号）
令和2年春発行



情報通信技術の活用や 自治体間の連携等で 人口減少・少子高齢化社会の 課題を克服！

今後、日本全体で人口が大きく減少していく、人口減少・少子高齢化の時代を迎えるに伴い、市税収入の伸びが期待できない一方で、社会福祉関連経費は大きく増加するなど、国と地方自治体を取り巻く状況はますます厳しくなっていくことが予想されます。



【出典】国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」

枚方市の市税収入と扶助費の推移



【出典】30年度までは枚方市普通会計決算の実績値、5年度以降は「枚方市長期財政の見通し」のデータに基づき推計値。

人口減少・少子高齢化社会の課題を克服し、市民生活を守るために必要な行政サービスを提供することができる持続可能なまちづくりを実現するために、枚方市の持つ地域資源を生かした関係人口や交流人口の創出・拡大、AIや5G、ビッグデータなどの情報通信技術の活用による利便性や生産性の向上、自治体間の広域連携や様々な主体との協働の推進、効果的・効率的な行財政運営などの取り組みについて市議会で提案していきます。

持続可能な
まちづくりを